



建築主コメント 宇都宮短期大学附属高等学校

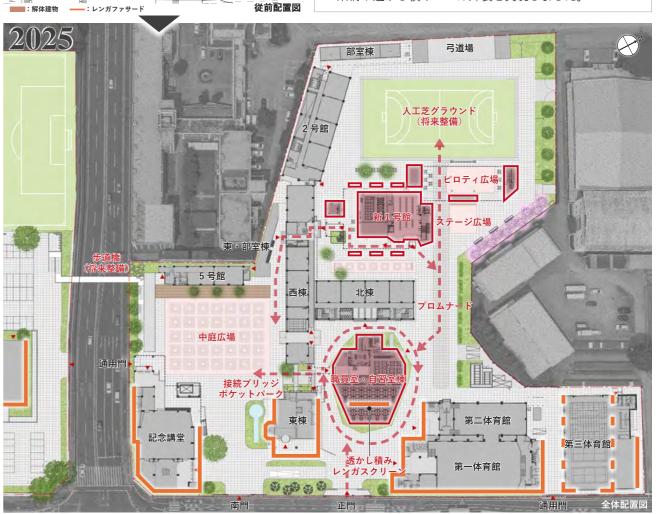
創立125周年を記念して、3つの校舎の建替を26カ月の短工期で完成させました。生徒・教員数2,500名、5つの学科を擁する大規模総合高校のため、インフラ盛り替えを含む綿密なローリングプランにより、既存校舎との動線や景観の連続性、工事中の安全性に配慮しました。ガラス張りで開放的な職員室は生徒とのコミュニケーション向上に成果を上げています。

設計者コメント 株式会社 竹中工務店

計画段階から4年間、関わらせていただき、変わりゆくキャンパスを見届けられたことは大変嬉しく、改めて感謝いたします。最初に訪れた際、校舎群に囲まれた『路地空間』を生徒さん達が活き活きと往来する様子が印象的でした。このキャンパス特有の空間性を引き継ぎ、施設機能更新と合わせて創出した『余白』が、これからも生徒や教職員の皆様によって彩られていくことを願っております。

施工者コメント 株式会社 竹中工務店

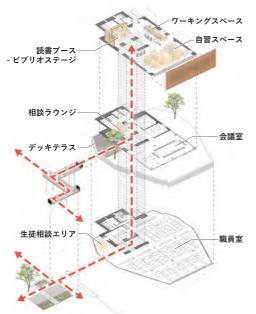
既存校舎に近接し『仮校舎無し/使いながら』の条件下で多くの学校関係者が行き交う中、生徒動線へのガードマン重点配置、見通しの良い仮囲い、ブリッジのハーフ PC 化等『安心・安全・快適』を最優先した工事計画とし、無事故無災害でお引渡しできました。施工検討に BIM を活用し効率化と品質確保を両立しつつ、印象的なアウターフレーム架構や透かし積みレンガ外装を実現しました。





職員室・自習室棟

3階 インクルーシブな学びの場



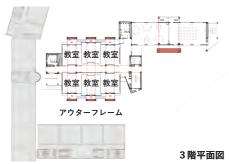
<u>キャンパスと繋がる内部階段</u> + 点在するサードプレイス

職員室・自習室棟は四周を既存棟(4棟)の出入口に面して配置し、1階をセットバックした 八角形平面とすることで、各出入口へのアクセスを高め、回遊動線の起点として整備した。





新1号館



アウターフレームにより内部構造要素を最小化



足元に既存環境と繋がるピロティを創出

北側に半屋外となる2層のピロティを計画し、プロムナードとグラウンドを繋いだ。南側の既存棟接続部には3層の外部階段を設置、新棟の特別教室群へのアクセスを高め、連携を強化する結節点とした。



職員室・自習室棟南側 2階回遊動線と連動するようにシンボルツリー





